

2025.7.8 令和7年度第1回 佐賀県認知症介護実践者研修

地域共生社会の実現に向けて

SC活動の取り組み報告

生活支援コーディネーターとの連携

 社会福祉法人 佐賀市社会福祉協議会 地域支援課 山口 貴史
(社会福祉士)

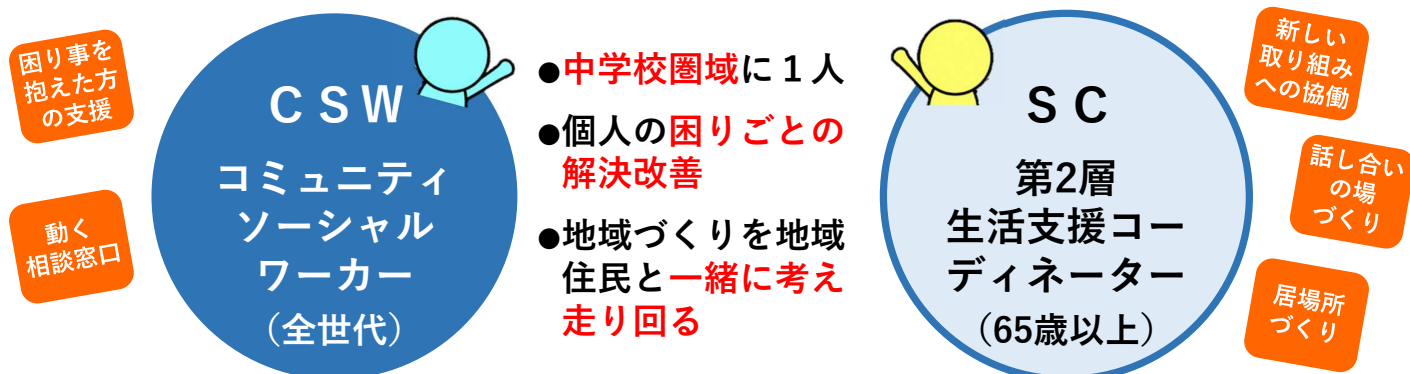
1

地域づくりの専任職員

佐賀市社協の「地域担当」



例) お金が足りない、住むところを追い出された、障害からくる生きづらさ など
困りごとを抱えた方に**サービスの紹介や病院や手続きへの同行**を行います。



例) 地域のために何かしたい、気軽に集まれる場所があれば… など
地域課題の解決に向けて、**地域住民の方と一緒に考え走り回って**います。

2

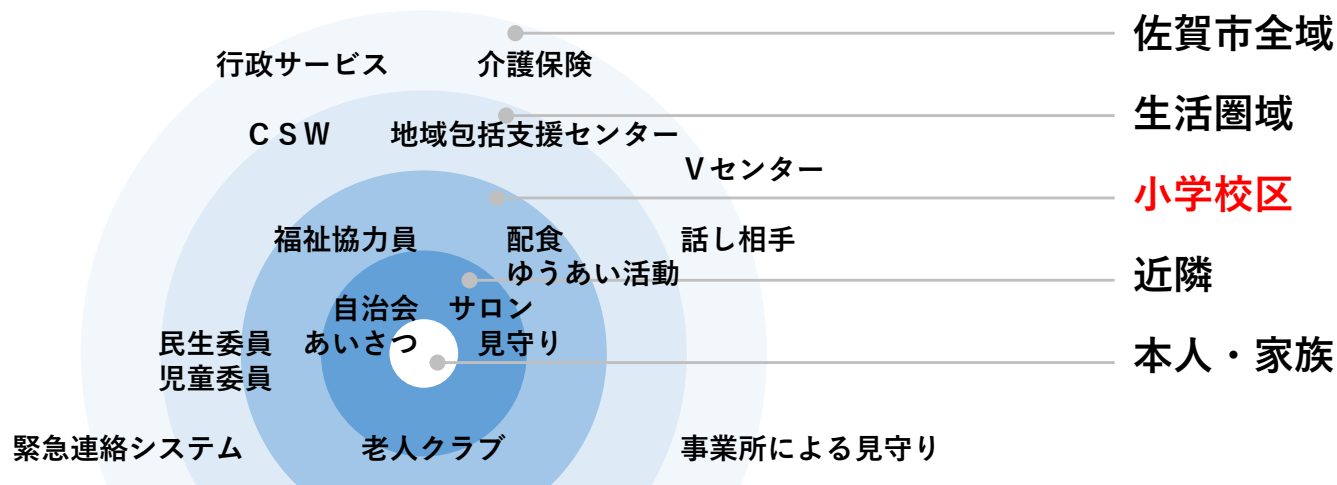
地域づくりの単位



昔から**小学校区単位でコミュニティを作っていく**という文化があった。

現在でも、自治会、まちづくり協議会、校区社協など

たくさんの地縁団体が重なり合いながら地域づくりを行っている。



3

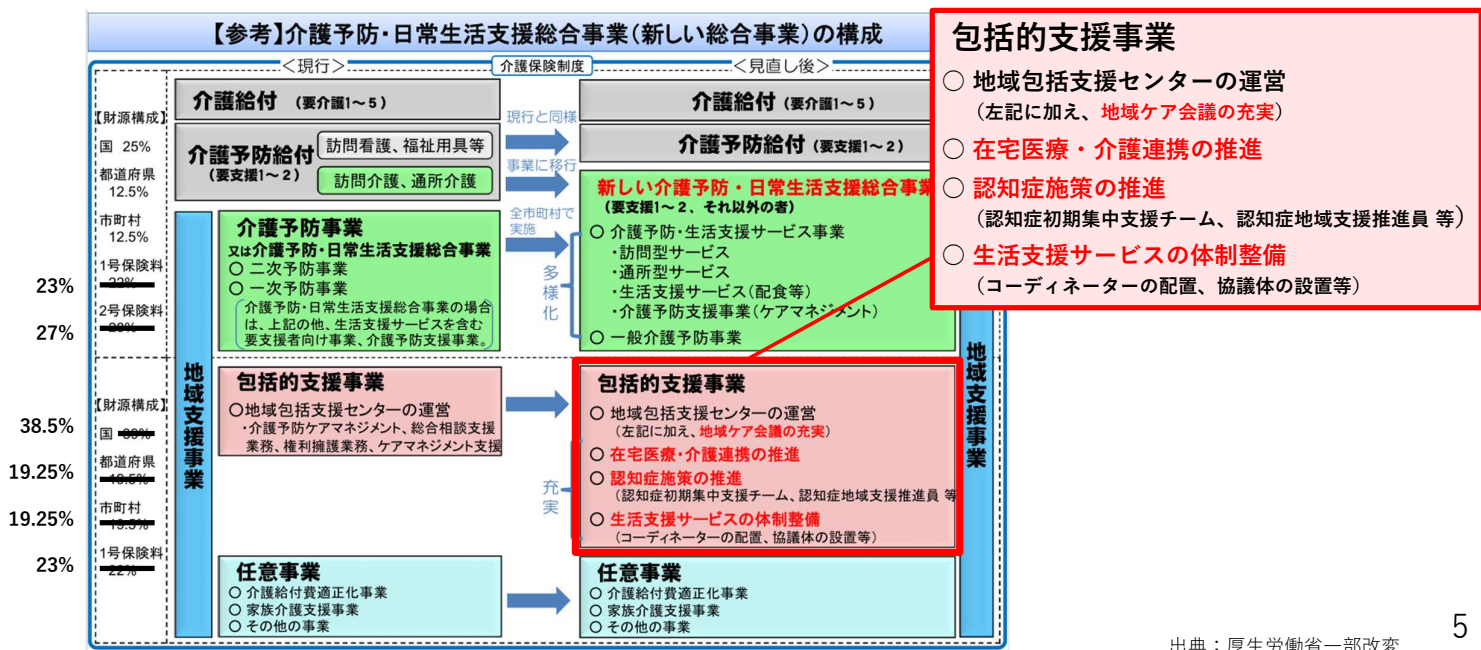


介護保険制度の改正

地域支援事業の中での
生活支援コーディネーターの役割とは

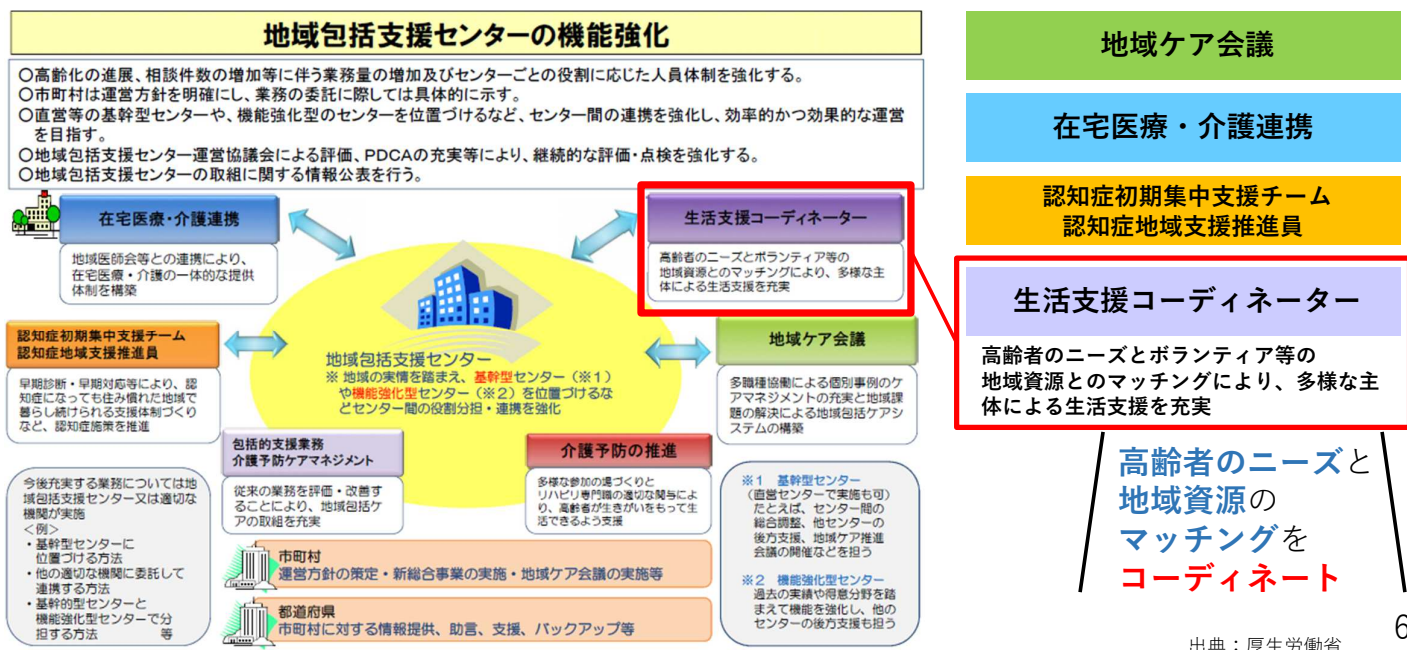
4

介護保険制度（地域支援事業）の見直し～平成29年



5

生活支援体制整備事業での役割

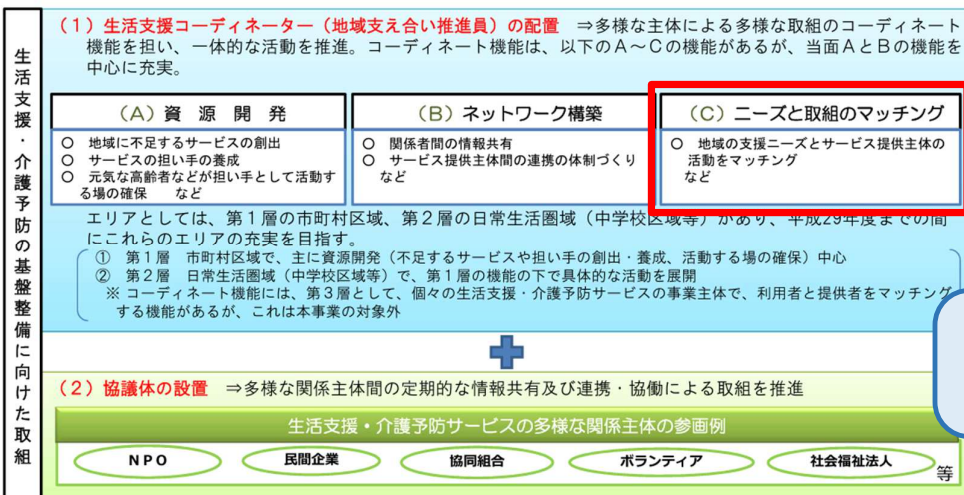


6

生活支援コーディネーターの役割

第3 生活支援・介護
予防サービスの充実

【参考】生活支援・介護予防の体制整備におけるコーディネーター・協議体の役割



(A) 資源開発

(B) ネットワーク構築

(C) ニーズと取組のマッチング

生活支援コーディネーターは
A～Cのコーディネートをする役割



※ コーディネーターの職種や配置場所については、一律には限定せず、地域の実情に応じて多様な主体が活用できる仕組みとする予定であるが、市町村や地域包括支援センターと連携しながら活動することが重要

出典：厚生労働省

7

知っていますか

生活支援コーディネーターの種類と配置



第1層 1名 市高齢福祉課に配置

第1層 市全域

市全体の高齢者福祉を話し合う場

第2層 中学校圏域

地域の高齢者福祉を話し合う場

自分が住む地域のことを、それぞれの状況や課題に合わせて話し合う。

第3層

住民主体の取り組み



第2層 15名 佐賀市社協に配置（令和6年度～）

※ H28からR5までは地域包括支援センターに配置（おたっしや本舗）

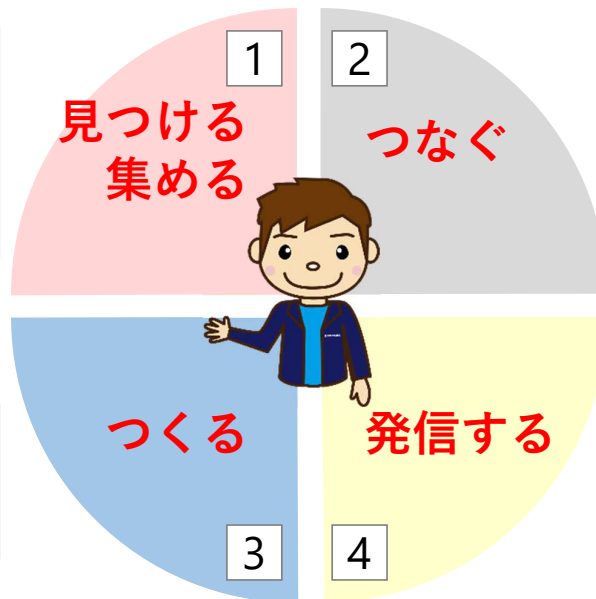
8

知っていますか

生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）とは

- ヒトや取り組み、知恵や工夫など**地域の宝物**を見つけます
- 地域住民がどんな困りごとを抱えているか**地域の声**を集めます

- 「地域にこんなことがあったらいいな」の実現のため住民の方と一緒に**考え、行動**をします



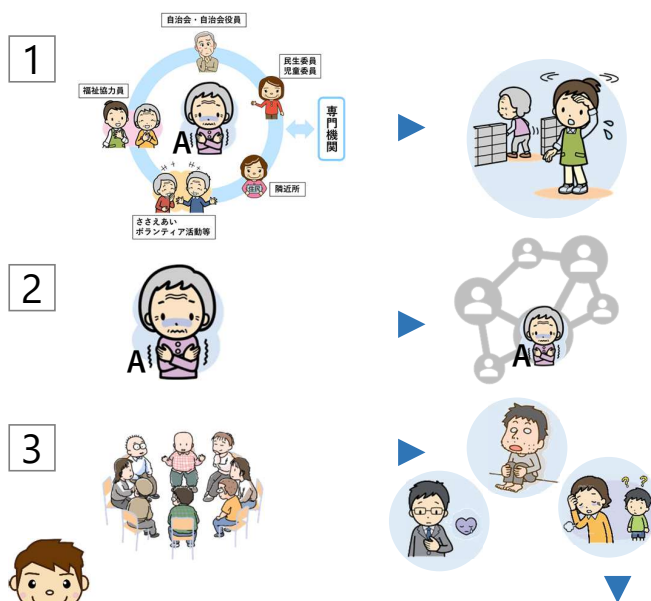
- ヒトや情報、サービスや資源などをつなぎ、地域の困りごとの解決を目指します。
- 「協議体」の場を活用し、地域住民や専門職をつなぎ、一緒に**地域づくり**を推進するきっかけをつくる

- 地域での**活動の様子**や活動に関わっている**ヒトの想い**を様々なカタチで発信します

9

個の支援から地域づくりへの展開

「地域を耕す」活動



細やかな見守り活動 から
「課題」をキャッチ

ひとりの課題 は **その他多くの** 同じような
課題につながっている

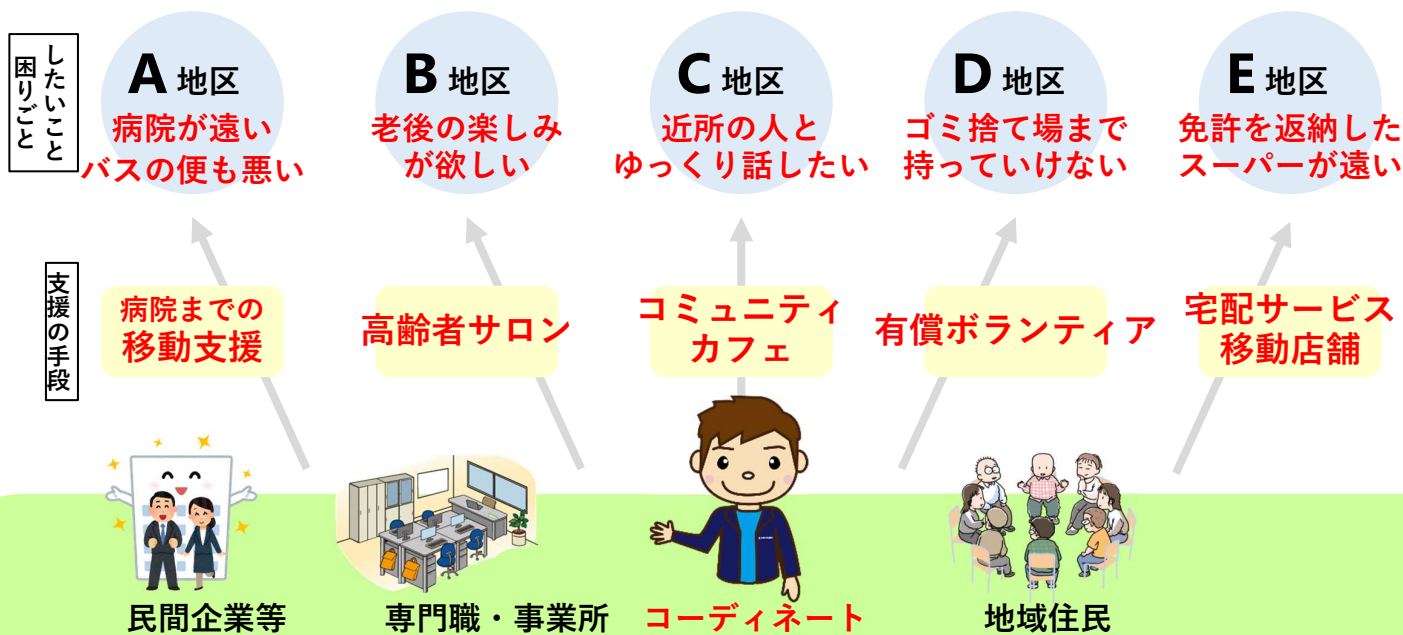
今後、困る人が出てこないように
地域みんなで「仕組み」をつくります

一人のケースから **その他多くのケース**に応用できる**仕組み**づくりに繋がる

10



多様な機関と連携し、オーダーメイドの支援



11

活動の様子や活動に関わるヒトの想いの発信

第2層生活支援コーディネーターだより
つむぎ通信 2024.9月 創刊号

校区に合った取り組みや居場所づくりを私たちも住民の方と一緒にやっていく。という想いを込めて「つむぎ」と名付けました。

たすキュー金立 令和6年6月30日発会
金立に住む有田の方が集まり、「金立町を良くしたい」「住みやすい金立町を次世代に引き継ぎたい」という想のもと久保原校区の「おたがいさん」の活動を参考に活動しました。
発会にあたり、おたがいさん本部会長のサポートが住民の方の心を動かしたことも大きかったと思います。
活動は、「車対り」「ゴミ出し」「買い物代行」で金立に住む方からの依頼があれば、事務局がサポート（ボランティアの方）を紹介します。現在たくさんの方の依頼をいただき、お車の車対りやゴミ出し（7月実施）を行っています。これは、中高生のボランティアが参加していることで、多世代での地域づくりを考えるきっかけとなるように活動が継続していきます。

地域のがんばるヒト
金立校区 江口さん & 尾形英隆さん
たすキュー金立の江口さんと尾形さんは、普段から民生委員児童委員として活動されています。住民の方との交流から、たすキュー金立の活動の必要性を感じておられるお二人です。
発会にあたって、金立町の地域団体の総会に一つ一つ出向き、活動の説明と理解を得るための努力がされました。
現在もサポーター活動の最前線で車対りなどを行い、多岐な日々を送られています。

わたしが思う地域
北エリア担当 貞包 有希子
前任であるおたがいさん本部から生活支援コーディネーター業務を引き継いで5か月になりました。業務を通じて「暮らしやすい地域とは何か」と考えたとき、近年の住民同士の関係が希薄化の中で、関係性を再構築しつつ、一人ひとりの能力を生かせる土台がある地域だと感じています。
生活支援コーディネーター業務は、地域の課題について住民さんとともに考え、地域での暮らしをより良くするための活動や取り組みをお手伝いするものであり、あくまで主体は住民さん一人ひとりで、みなさんの思いに寄り添った取り組みをしていきたいと考えています。

社会福祉法人 佐賀市社会福祉協議会
地域支援課/佐賀市ボランティアセンター/福祉まるごと相談窓口（市役所14番窓口）
地域子育て支援センター北エリア・南エリア（文責：地域支援課 北エリア）
本所住所：佐賀市兵庫北三丁目8番36号
電話：0952-36-9616 FAX：0952-32-6665
https://www.scsykyou.jp

第2層生活支援コーディネーターだより

「つむぎ通信」の創刊

校区に合った取り組みや居場所づくりを私たちも住民の方と一緒にやっていく。という想いを込めて「つむぎ」と名付けました。

- 創刊 令和6年9月
- 内容 新しい取り組み紹介
地域のがんばるヒト紹介
職員発信 わたしが思う地域

地域での活動の様子や関わるヒトの想いを発信し、活動の熱量を他の校区にも届けたい。

12

佐賀市における 住民主体の取り組み

S Cは活動が継続していくために
積極的に関わっていく必要があると
考えています。

13

生活支援に関わる住民主体の取り組み

通いの場

校区名	取り組み名称	活動内容	活動主体
富士	憩いの家事業	●場所 フォレストふじ ●開催日 毎週火、水、木 ●参加費 500円 ●内容 軽運動 レクリエーション 入浴 各種講座	富士地区社会福祉協 議会
鍋島	カフェハーモニー	●場所 鍋島シェストビル1F ●開催日 毎週木 ●時間 10時～15時 ●参加費 100円 ●内容 軽運動（囲碁手玉等） 囲碁	カフェハーモニー実 行委員会

14

移動支援

校区名	取り組み名称	活動内容	活動主体
川上 	かわかみ・絆の会	●対象者 高齢者などの移動困難者 ●窓口 民生児童委員 ●運転 地域のボランティア ●範囲 概ね片道6km ●料金 ガソリン代程度	NPO法人 かわかみ・絆の会
久保田	さるこうカー	●対象者 運転免許返納者、移動困難だが乗降に介助が不要な方（事前登録） ●窓口 民生児童委員 ●運転 代表、事務局長の知人 ●範囲 久保田校区内 ●料金 燃料費1回50円	久保まち協健康福祉部会
巨勢	コセべんりカー	●対象者 高齢者などの移動困難者 ●窓口 民生児童委員 ●運転 主は民生児童委員 ●範囲 原則片道6km ●料金 燃料代チケットで支払い	巨勢まち協移動支援部会

15

自分たちの町のことは自分たちでどがんかせんば！！

NPO法人 かわかみ・絆の会（佐賀市大和町）

地域の課題（主に移動手段）を解決するために民生児童委員を中心に行政からの支援を受けずにNPO法人を立ち上げる。

- 1 移動支援** ガソリン代相当の負担で、病院、買い物や介護予防教室に利用できる自宅から目的地までのドア to ドアの送迎
- 2 生活支援** 有償ボランティア（100円～300円程度）で簡単な家事支援



※佐賀市介護予防・日常生活支援総合事業における「訪問型サービスD」に活用

16

生活支援

校区名	取り組み名称	活動経過	活動内容	活動主体
久保泉 	町分おたがいさん	R4.5 発会式 生活支援開始 R5.5 移動支援の検討 R5.10 「買い物おたがいさん」開始	●生活支援 ・料金 チケットで支払い。 30分250円（200円はサポーター、50円は事務局） ・サポーター登録者 41名 ●移送支援 買い物希望者を募り、月1回実施	町分おたがいさん
久保泉	下六おたがいさん	アンケート実施 ・回収率85%、 ・支援を依頼したい人 90名 ・協力できる人 50名 R5.5 発会式	●対象者 下六自治会に住む高齢者 ●内容 買い物代行 話し相手・見守り ゴミ出し 除草作業	下六おたがいさん
金立	たすキュー金立	R6.6 発足式	●対象者 金立校区の高齢者 ●内容 買い物代行、庭の草むしり・草刈り、ゴミ出し、その他 ●特徴 若年層（40～50代）や子どもサポーターの参加が多い	たすキュー金立

17

ひとりでも困っている人がいるなら地域で助け合わんば！！

おたがいさん（佐賀市久保泉町）

高齢者の日常生活のちょっとした困りごとを
住民同士で解決する有償ボランティアサービス

1 電球の交換



2 話し相手



3 ゴミ出し



4 除草作業



など



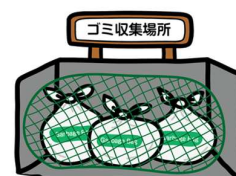
18

既存の資源を活用した取り組み

校区名	取り組み名称	活動の始まり	活動主体
赤松	青パトを活用した移動支援	R3.12 公民館長が青パトの活用方法についてまち協に相談 R4.7 公民館、まち協、SCで話し合い R4.9 活動開始、公民館で住民からの希望を受け付け、まち協が配車を振り分ける。	赤松まち協げんき部会 きばろう会
高木瀬	介護保険事業所による社会貢献	R4.1 介護保険事業所からSCに社会貢献の申し出（運転手付きの車両）→ 事業所近くのサロン送迎を提案 R4.10 送迎開始、校区内のサロンにアンケートを実施、他の事業所にも活動の協力を提案 R5.1 3か所目の送迎が開始	医療法人 社会福祉法人 株式会社
金立	カフェの送迎	R5.4 カフェ運営委員会で送迎が課題に挙がる。SCが高木瀬の事例を参考に、校区内の事業所にアンケートを実施し、障がい者施設から協力の申し出 R5.6 移動支援開始	社会福祉法人
高木瀬	高校生による簡単な困りごとの解決	ボランティア活動に力を入れている高校の先生からの申し出で近隣地区の自治会長や民生児童委員との話し合いにつなげる。民生児童委員からの申し出で、高齢者宅の年末の窓ふきや除草作業等の簡単な困りごとを解決する仕組みができた。	北稜高校

19

ゴミステーションの設置



65歳以上の高齢者を対象とした高齢者実態調査で「ゴミ出しに困っている。」と回答された281名に対し、現況調査を行い、**今ゴミ出しに不安を抱える方が62名**いることが分かった。

イメージ図



1 新しいゴミステーションの設置

調査の過程で、自治会長や民生児童委員と繋がることができ、ゴミ出しに対する助成金の紹介やある自治会長と一緒に市役所の担当部署に行くなどしました。

2 住民同士のゴミ出しなどの支え合い活動の立ち上げ

公営団地では、調査の過程で、困っている人が一定数居ることを分かったことで、住民同士の支え合い活動が立ち上がりました。

20

S Cとの連携を考える

目指すS C像
第2層S Cからのお願い



21

TV番組から

生活支援コーディネーターのあるべき姿

番組に依頼を出したのは76歳女性で、
「104歳の母が作った小物入れをもらって
くれる人を探してほしい。」という内容



104歳の女性は、**紙で小物入れを作るのが趣味**で、娘は施設を訪問するたびにそれを持って帰るよう言われるが、すでにたくさん持っているため断っている。

次にお世話になっている施設の職員（看護師）に小物入れをプレゼントするようになり、職員はそれを知人に配っていたが、ついに渡す人がいなくなってしまう、
「いっぱいもらったから大丈夫。また欲しい人がいたら聞いとくね」と断った。

あげる人がいなくなった女性は**落ち込んでしまいました。**

そこで**母が小物入れを作り続けてもいいように、小物入れをもらってくれる人を探してほしい**という依頼を番組に出した。

22

生活支援コーディネーターのあるべき姿



1 神社に行って、絵馬を書くペン立てにしてもらう



2 お客さんに配ってくれることに



3 焼き菓子を入れてラッピングして販売することに



生活支援コーディネーターの姿に重なる

おばあちゃん
これからも
たくさん作ってね

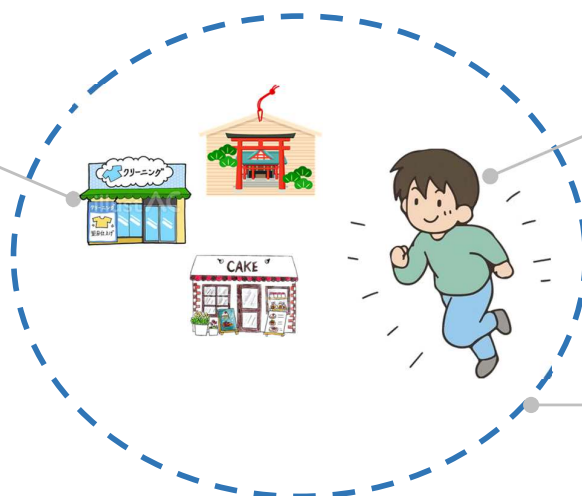


出所：（一財）医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 中村一朗氏 資料一部改変

23

生活支援コーディネーターのあるべき姿

(A) 資源開発
(発見・把握)



(B) ネットワーク構築

有名だから
マッチングできる

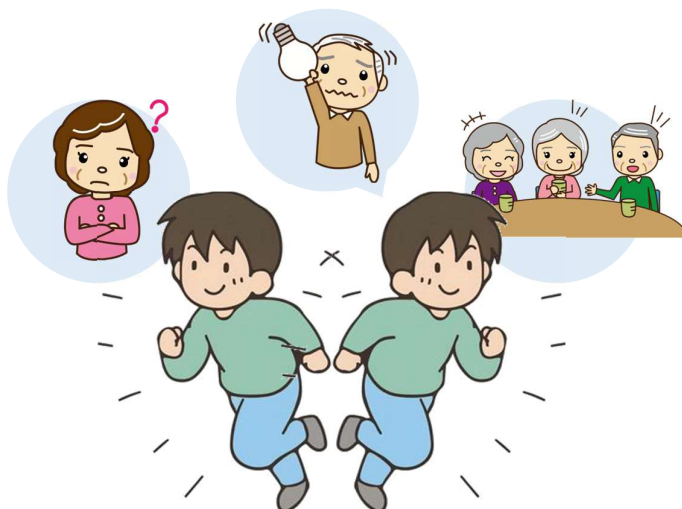
(C) ニーズと
取り組みの
マッチング

資源開発・創出は、上記ができないときに行うこと
いきなりサービスづくりをやっていないか。

出所：（一財）医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 中村一朗氏 資料一部改変

24

目指すSC像



困っている高齢者個人の課題を解決するために**地域を走り回る姿**
小さな成果が「地域の課題を解決できる人」という認識につながる
 こういう人を中心にネットワークができる

出所：（一財）医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 中村一朗氏 資料

25

インフォーマルサービスの種類

してあげる資源と本人の資源

してあげる資源	本人の資源
実施主体が高齢者向けのサービスとして提供するもの	本人や支援者が資源に 意味づけをして活用 する
公助・共助 ・バスタクシー助成制度 ・介護保険 など	場所 - フードコート、商店のベンチ - 図書館、公園、移動販売車の周囲 - 手芸販売店、美容室、喫茶店
互助・自助 ・サロン ・お助け隊 ・移動支援活動 ・保険外ヘルパー ・何でも屋 ・介護予防教室 ・地域食堂 ・スポーツジム ・企業のCSR活動	道具 - 電動アシスト自転車、趣味の道具 - 便利な園芸用品、デジタル機器
すべての人の資源とならない。 実施主体がなければ成立しない。 →これだけを「資源」とすると 資源は足りなくなる	環境・役割 山、ペットや植木、学校、スポ小、車の通行量、企業活動、困りごと
	人・目に見えないもの 家族・友人・隣人・友情・責任・挑戦心・過去の後悔

アイデア次第で
いくらでも増やせる



出所：（一財）医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 中村一朗氏 資料一部改変

26

役割という地域資源

「役割」という地域資源
は男女問わず有効



通院している病院
のロビーに得意の
生け花を飾らせて
もらう



少年野球の練習時
の見守り役を保護
者に代わって行う



右半身にマヒが
あっても……



元整体師さん
デイサービスで



本好きの方に図書館
でのお手伝い役を



ビジネスホテルで
おしゃべり会



97才の女性の作品
を販売するお店

出所：（一財）医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 中村一朗氏 資料一部改変

27

ヒトとヒトが繋がれば、色んなことが起きる

生活支援コーディネーターからのお願い

例えば

場所

デイサービスルームの一角
診療所の待合室の一角

役割

施設ボランティアがしたい人 ▶ 簡単な見守り
麻雀好きの70代男性 ▶ 健康麻雀の講師
喫茶店の元オーナー ▶ 施設内の喫茶スペースの活用



ヒトとヒトが繋がれば、色んなことが起こる可能性があります。

私たち生活支援コーディネーターは、**みなさんと繋がりたい**です。

私たちと**一緒に考えてもらえる機会**をいただけると助かります。

28

生活支援コーディネーターの配置状況

市町名	第1層			第2層			第3層	市町名	第1層			第2層			第3層
	(現)運営	配置	人数	(現)運営	配置	人数			(現)運営	配置	人数	(現)運営	配置	人数	
佐賀市	行政	H29	1	社協	H27	15		吉野ヶ里町	行政	H28	1				
唐津市	行政	H28	1	社協	H28	11		基山町	包括	H30	3				
鳥栖市	社協	H30	6	包括	H30	5		みやき町	社協	H30	1	社協	H30	2	
多久市	行政	H28	1					上峰町	社協	H30	2				
伊万里市	社協	H29	2	社協 包括	H30	4		玄海町	行政	H30	1				
武雄市	たんぼぼ	H29	2	社協ほか	H30	9		有田町	社協	H28	2				
鹿島市	社協	H28	2	社協	H30	2		大町町	行政	H28	3				
小城市	行政	H28	1	包括	H29	3		江北町	行政	H28	2				
嬉野市	Happy Care Life	H29	1	社協 こだま	H29	3		白石町	社協	H28	3				
神埼市	社協	H29	1	行政 包括	H30	3		太良町	社協	H28	1	社協	H30	2	

29

第1層協議体の成果

踏み出す一歩を応援する手引き



みんなで作る住みよい地域

支えあい活動の手引き

佐賀市久保泉町の支えあい組織「町分一・町分二おたがいさん」が作成された「助けあい活動づくりワークブック」を参考に作成しました。

- 支えあい活動のはじめ方
- 運営のポイント
- 住民アンケート（例）
- 会則（例）
- 協力者・利用者の心得（例）

30